

## 北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議（第21回）開催結果概要

### 1 日 時

平成22年12月22日（水）14:00～16:00

### 2 場 所

PCB処理情報センター（室蘭市御崎町1丁目9番地8）

### 3 出席者

監視円卓会議委員、登別市、環境省、日本環境安全事業株式会社  
事務局（北海道、室蘭市）

傍聴者：21名 報道：4社（室蘭民報社、NHK、北海道新聞、読売新聞）

### 4 内 容

- (1) 第20回監視円卓会議議事録について
- (2) 監視円卓会議設置要領の改正について
- (3) 北海道事業の進捗状況等について
- (4) 環境モニタリング測定結果等について
- (5) 増設事業について
- (6) その他

### 5 議事概要

- (1) 第20回監視円卓会議議事録について  
監視円卓会議として承認。
- (2) 監視円卓会議設置要領の改正について  
事務局から資料2に基づき説明。

- ・委員である「各種団体の代表者」を厳密に解釈すると、各団体の都合によりその条件を満足していない場合があったところ。
- ・このため、実態に合わせるために今回改正を行うもの。
- ・これまでの各種団体の代表者に加えて、各団体の実情に応じて、その団体が推薦する者が委員となることを可能とした。

監視円卓会議として承認。

- (3) 北海道事業の進捗状況等について

日本環境安全事業株式会社から資料3-1、資料3-2及び資料3-3に基づき説明。

- ・全国5箇所で行い、年々処理量も増加しているが、引続き安心・安全第一で事業を実施していく所存。また、北海道事業での増設事業も先行する北九州事業の知見等を十分活かして安心・安全な施設の整備を行っていく予定。
- ・北海道事業における処理の進捗状況（平成22年11月末）としては、平成21年度末のJESCO登録台数ベースで22.4%が処理完了。
- ・前回の監視円卓会議以降、レベルⅣのトラブル事象が3件発生。（それに加えて、12月19日にはレベルⅣのトラブル事象が1件発生。）
- ・処理台数の増加もあり、ヒヤリハット・きがり活動について、その件数は昨年度と比較すると多い状況。
- ・今年度の総合防災訓練を9月30日に行い、過去最大の170名の参加者で二部構成で実施。

主な質疑等は以下のとおり。

#### (委 員)

JESCOへの登録台数は、行政に対する届出台数と一致していると考えてよいか。

#### (JESCO)

未登録や使用中のものもあることから、必ずしも台数は一致していない。

#### (委 員)

法定期限までに日本国内にある全てのPCB廃棄物は処理が終わる見込みなのか。

#### (環境省)

現在、J E S C O が各事業所で安全・安心を重視しつつ処理量を増やししながら順次処理を進めているところ。期限までの完了には容易な量ではないと考えているが、出来るだけ早い段階で J E S C O にて処理が完了するよう、引き続きしっかり実施する。

(委 員)

ヒヤリハットの件数が昨年度は 8 件、今年度は半年で 14 件という結果になっているが、これは大幅に増えていると判断し、気を引き締めて処理を行うべきではないのか。

(J E S C O)

ヒヤリハットの件数の増加は、処理台数の増加によるものと判断しており、これまでとは違う傾向のものも出てきている。これらの事例についてはひとつひとつ原因究明を行い、今後の安全対策に役立てている。

(委員長)

これまで外部への影響がなかったことや労働災害が発生していないことに過信することなく、ヒヤリハットの段階で十分解析を行い、現実トラブルが発生しないよう現場の方へ周知徹底をするよう引き続き努力をしていただきたい。

(委 員)

トラブル事象の原因やヒヤリハットの質が変わってきていることに関連して、現場労働者の質や訓練の内容といった問題も影響していると考えているので、しっかり対応をいただきたい。

(委 員)

ヒヤリハットの事例集を明らかにして欲しい。

(4) 環境モニタリング測定結果等について

事務局から資料 4-1 及び資料 4-4 に基づき説明。

- ・これまでのモニタリング結果で環境基準等や排出管理目標値を超過した事例はない。
- ・前回の監視円卓会議以降に実施した立入検査は 5 件で、うちトラブル事象に伴うものが 3 件、関係法令に基づく定期の立入検査が 2 件。

質疑等については特になし。

日本環境安全事業株式会社から資料 4-2 及び資料 4-3 に基づき説明。

- ・昨年 9 月のダイオキシン類の測定で排出管理目標値と同値となった第 1 系統の排気について、本年 1 月からの自主測定ではいずれも大幅に排出管理目標値を下回る結果。7 月に実施した道とのクロスチェック結果でも概ね同様の低い値であった。
- ・前回の監視円卓会議で委員から提案のあった活性炭槽のサンプリング方法について、内部検討の結果、ピートサンプラーを用いたサンプリングとした。

主な質疑等は以下のとおり。

(委 員)

クロスチェックにおいて、道の分析結果と日本環境安全事業株式会社の分析結果で約 30 倍の違いがあるがこれは問題ないのか。

(J E S C O)

極めて低い濃度の分析を行っているので精度の問題が考えられること、また、ダイオキシン類の濃度は得られた物質毎に換算係数を掛けて算出するが、定量下限値前後の値になると、換算係数を掛けて算出されるものと定量下限値以下ということで計算上ゼロとなるものに分かれることから、これによる違いが生じているが、同程度の濃度であり、問題ないと考えている。

(5) 増設事業について

日本環境安全事業株式会社から資料 5 に基づき説明。

- ・北海道 P C B 廃棄物処理施設設置工事（増設）の落札業者は、新日鉄エンジニアリング㈱を代表者とする 3 社の共同企業体で、平成 22 年 12 月 3 日に設計業務の契約締結。
- ・工期は平成 22 年 12 月 6 日から平成 25 年 5 月 31 日まで。
- ・処理方式は、北九州事業と同様のプラズマ熔融分解法。

・今後行政庁の許認可を得て、平成 23 年 12 月までに着工し、平成 24 年 12 月から試運転を行い、平成 25 年 6 月から処理を開始する予定。

主な質疑等は以下のとおり。

(委 員)

処理後に排出されるスラグはどのような用途に使う予定か。

(J E S C O)

現時点での共同企業体からの提案では、分析後、産業廃棄物として処理することになっている。

(委 員)

スラグが無機物ならば、将来的には再利用が可能と考えるがいかがか。

(J E S C O)

北九州事業でも同様にスラグが大量に排出されることから、本社としても再利用についての検討を行いたい。

(委 員)

契約の中で作業や工事監理者に対する管理体制はどうなっているのか。また、施工時の品質確認はどの様に行うつもりか。デザインレビュー（設計審査）を行うつもりはあるのか。

(J E S C O)

具体の管理体制については工事に入る前に施工契約を締結することから、その中でしっかりとした体制を盛り込むことになるので、共同企業体もその通りにやっていただけたと考えている。また、品質確認については、現在は設計中であることから具体的ものは決まっておらず、今後明らかにしたいと考えている。設計については、これから基本設計、詳細設計と作業を進めていくが、その際、共同企業体からの提案に加え、J E S C Oとしても提案で足りないものがあれば施設を増強するなどして対応するとともに、既存施設での経験も最大限生かしてゆきたいと考えている。

(委 員)

QC工程図を使う考えはあるのか。

(J E S C O)

取り入れていきたいと考えている。

(委 員)

スラグ量はどの様に計算して出すのか。また、具体的なスラグ量の想定量はどのぐらいか。

(J E S C O)

安定器を例に説明すると、安定器の中に含まれる油は分解されてガス化するため、それ以外の容器やそれらを処理施設に投入する際に使用するドラム缶などがスラグへ移行すると考えて、所定の率を掛けることにより、安定器由来のスラグ量を出すことができる。なお、想定量については、確認のうえ、後日お知らせしたい。

(委員長)

増設事業の実施にあたり室蘭市から要望事項があったと思うが、その要望事項に対してどの様な対応をとっているのか、また、当初事業で明らかになった問題点を増設事業でどう活かしていくのかという点について、いつ頃この監視円卓会議で明らかにしていただけるのか。また、監視円卓会議以外でも市民に対する説明会を行う予定があるのか教えて欲しい。

(J E S C O)

現在、道と許可手続きに関する打合せを開始したところであり、この会議の事務局でもある道とも相談させていただき、許可内容が確定する前に説明を行いたい。

また、市民に対する説明についてもどの様な形でやるべきか室蘭市と相談させていただきたい。

(委員)

この会議ではJ E S C Oの事故等に対していろいろな意見や注文を出しているが、行政（環境省、北海道、室蘭市）ではJ E S C Oに対してどのような指導等をしているのか教えて欲しい。

(北海道)

トラブル事象等に関しては、J E S C Oから通報があった後、胆振総合振興局が室蘭市と合同で立入検査を実施しており、かなり厳しく対策等を講ずるよう指導を行っている。

(6) その他

事務局から、次回は3月中旬の開催を予定している旨説明。